

●平成17年5月17日JJP拡大編集委員会議事録

仙台国際会議センター，午前10時～12：30

出席；葛西，久保川，伊佐，桑木，丸中，能勢，挟間，西野，小西，佐久間，黒沢，高橋，本間，野間，渡辺

1) 全員の自己紹介を行った。これからの生理学会年會に行う編集会議には，Editorial Board Memberも参加することとする。

2) 平成17年3月28日編集会議議事録を確認した。

3) 常任幹事会への報告について確認した。

- JJPの論文審査状況，出版状況など，出版社の移行も順調に推移した。

- JJP入澤賞の決定；昭和大学医学部第二生理学教室から投稿された論文，Effects of hyperthermia on ventilation and metabolism during hypoxia in conscious mice, by Iwase M, Izumizaki M, Kanamaru M & Homma I. に決定した。

- 出版助成金の内定（今回は平成17年度の単年度申請）

- 新委員長の決定

この間，メール上編集委員会にて投票した結果，岡田泰伸先生（生理学研究所）が選出された。ただし，岡田先生が現在生理学会の編集・広報幹事で激務のため，野間編集委員長からの移行をしばらく延期することになった。

4) 常任幹事会への議事提案について

- 平成17年度からの新編集委員の選挙結果（平成17年3月28日編集委員会）

JJP編集委員会委員選出内規（2）の規定により，次の新委員の推薦を決定した。（平成17年5月17日の常任幹事会で承認された。）

小西真人（筋生理）

伊佐 正（中枢神経生理）

河原克雅（腎・体液・消化生理）

本間生夫（呼吸生理）

佐久間康夫（内分泌生理）

葛西道生（生物物理）日本生物物理学会推薦

今回の委員の選定結果では比較的継続の委員が多い傾向が指摘され，もちろん再任を否定するもので

はないが，できれば二期8年を一つのめどとするのが良いとの申し合わせがなされた。

- JJPのタイトル変更について

平成18年第56巻よりJJPの誌名を変更すべく，編集委員会で審議してきたが，可能性のあるタイトルを絞り込んだので，常任幹事会での決定をお願いする。常任幹事会で，Journal of Physiological Sciencesに決定した。巻号はJJPを引き継いで，56巻からスタートできる。

5) JJPの将来計画

- 各領域の編集委員として，海外（特にアジア・大洋州地域）から各1名を追加し，国際化を図る。これに付随して，編集協力員の数を，基本的に現在の各領域3名の枠を2名に減じる。

- 過去号のPDF化：

今年中にVol. 20-39（約16,000頁）をNIIのSPARC/Japan事業費を使って作成（JJPはSPARC/JAPAN事業への参画誌）。すでにこの作業は早ければ6月末には始まる予定である。来年度は残りのVol. 1-19をSPARC/Japan事業が継続していれば，それを利用する。または，学術振興会から科研費（データベース）補助金を利用して作成。JSTでも，J-STAGE搭載誌を先行させて全号のデータベース化の事業が動き出す。（Vol. 40以降はNIIのSPARC/JAPAN事業費を使って完成済。）

- HighWire：

現在OUP（Oxford University Press）とOUPによる海外販売の可能性も含めて，HighWireへの掲載交渉中である。単独での掲載では費用がかかり過ぎるため。（日本生化学会のJ. Biochem. は単独でのHighWire掲載を目指したが，結局OUPジャーナルとしてHighWire掲載になりました。）。現在，MT社が取り組んでいる。

- 日本生理学会年會でのブース展示，あるいはJJPシンポジウム案などについて議論した。

（野間昭典）